

南高図書館だより

2024年2月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『オレたちバブル入行組』

池井戸潤／著 文藝春秋(文春文庫)

この本は、大人気ドラマシリーズ「半沢直樹」の原作となった本です。大筋のストーリーは当然ながらドラマ版と同じですが、東京中央銀行につとめる半沢直樹が、銀行に取り巻く巨悪を打ち倒していくものとなっています。とても爽快感のある小説なので、ぜひ読んでみてください。

『マイナス・ヒーロー』

落合由佳／著 講談社

「アドバイザーになってわたしを勝たせて」バドミントン部の羽野海は、実力はあるが準優勝止まりの二年生。訳あってそんな羽野のアドバイザーになった久能凧斗は彼女に金メダルを取らせることができるのか？ 児童向けです。自分で読むのもいいですし、弟さんや妹さんに読ませてみてはいかがでしょうか。



『ソードアート・オンライン 1 アインクラッド』

川原礫／著 KADOKAWA(電撃文庫)

世界初のフルダイブ型 VRMMORPG のゲームである「ソードアート・オンライン」がリリースされ、約1万人のユーザーが仮想世界を満喫していたところ開発者である茅場晶彦の手によってゲームの中に閉じ込められる「SAO 事件」をはじめに仮想世界にまつわる事件に巻き込まれていく物語です。

ただのゲームオタクであった主人公が死の恐怖や人の優しさに触れて人として成長していくところがかっこよく、面白いです。また友達などの身近な人の死について書かれているシーンは涙なしでは見れないです。

図書館からのお知らせ



埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本 2023



「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本2023」が2月16日(金)に発表されました。図書館でもイチオシ本を展示中。ベスト10に選ばれた書籍を、作家さん等のコメントが入ったPOPとともに展示しています。貸出中の本は予約もできます。

埼玉県の高校図書館司書が選んだ イチオシ本2023 ベスト10

1位	『成瀬は天下を取りにいく』	宮島未奈	新潮社
2位	『この夏の星を見る』	辻村深月	KADOKAWA
3位	『私たちの世代は』	瀬尾まいこ	文藝春秋
4位	『続 窓ぎわのトットちゃん』	黒柳徹子	講談社
5位	『レーエンデ国物語』	多崎礼	講談社
6位	『祖母姫、ロンドンへ行く!』	榎野道流	小学館
7位	『宙わたる教室』	伊与原新	文藝春秋
8位	『推しの素晴らしさを語りたいのに 「やばい!」しかでてこない』	三宅香帆	ディスカヴァー・トゥエンティワン
9位	『世界でいちばん透きとおった物語』	杉井光	新潮社
10位	『リカバリー・カバヒコ』	青山美智子	光文社

蔵書点検(3/12~3/14)のお知らせ

蔵書点検は、所蔵している本が行方不明になっていないか、所定の位置にあるかどうかを調べる、図書館の業務です。「蔵点(ぞうてん)」と略して呼ぶこともあります。実施することで、本は所定の場所に配架され、利用する人が見つけやすくなります。

蔵書点検期間中(3/12(火)~3/14(木))は、図書館は休館です。





新着図書PICKUP

1 月に新しく入った本

知識の本

幸せな大人になれますか

前野隆司／著 小学館

幸せになるために必要なこと、それはまずあなた自身が「幸せになろう」と思うこと。本書では、若い世代の悩みである「他人との比較」や「人間関係」に焦点を当てて考えながら、幸せな人に共通する「4つの因子」や、今日からできる幸せになるためのレッスンを紹介します。

素顔をあえて見せない日本人 新時代のコミュニケーション

宮口幸治／著 ビジネス社

2020年1月以降、長期間マスクを着ける生活になった。著者は、顔の半分以上がマスクで覆われることで、相手の外見よりも内面的な部分を見る力が私たちに備わるのではないかと期待する。今まで辿りつけなかった世界につながる、新時代のコミュニケーションとは。

葬儀！

ジュリエット・カズ／著 吉田良子／訳 柏書房

チベットの天葬、スコットランドの死体金庫、ニューオーリンズの音楽葬……。葬儀を巡る世界の旅。あらゆる時代と場所を通じて、死に対する生者の行為が非常に特殊だと思える葬儀の例を集め、人類学と考古学の知見とともに紹介する本。より深く学びたい人のためのガイド付き。

マンガAPD／LiDって何！？ 聞こえているのに聞き取れない私たち

きょこ／著 小淵千絵、佐々木香緒里／監修 合同出版

APD(聴覚情報処理障害)／LiD(聞き取り困難)は難聴ではない。雑音の中で聞き取ったり、耳で聞いたことの理解・記憶が苦手という特徴があり、ザワザワしている場所での会話が難しかったり、聞き返しや聞き間違いが多いことがある。聞く気はあるのに聞き取れない、聞き取りがきつちよさんとそのまわりのひとに知ってほしいことを、APD／LiD当事者の著者が伝える。

甘いバナナの苦い現実

石井正子／編著 アリッサ・パレデス[ほか]／著 コモンズ

今日、果物の中で日本人が最も多く食べているバナナ。バナナはなぜ安いのか？主な輸入先フィリピンでの栽培や流通の知られざる現状を詳細に調査し、エシカルな食べ方を考える。分量の多い内容の本だが、各章は独立しているので、関心に合わせて部分的に読むこともできる。

はじめから国宝、なんてないのだ。感性をひらいて日本美術を鑑賞する

小林泰三／著 光文社

デジタル復元した「風神雷神図屏風」を当時と同じようにろうそくを灯して観ると、あるポジションで雷神の目と歯がキラリと光る。制作された当時の色を、制作された当時と同じ方法(環境)で鑑賞すると、日本美術は作品のほうから饒舌に語りかけてくる。まるでタイムトラベルだ。

サッカーの経済学

平田竹男／著 新星出版社

元・日本サッカー協会専務理事が、経済学的見地からサッカーを解説した本。クラブ経営にはどのくらいお金がかかるのか、選手はいくらもらっているのか。また、欧州五大リーグとJリーグの経済規模の比較など、話は海外にも及ぶ。サッカーファンの素朴な疑問をQ&A形式で解説。

小説・文学

タスキ彼方

額賀濤／著 小学館

戦時下に箱根駅伝開催に尽力したとある大学生の日記が、令和のボストンマラソンの会場で、新米駅伝監督成竹と学生ナンバーワンランナー神原の手に渡る。日記には「箱根を走ってから死にたい」という切実な願いを抱く学生たちの壮絶な軌跡があった。過去の彼らの熱い想いは、今を生きる成竹と神原のふたりを動かしていく。戦中と現在を交錯させて描く青春物語。

変な家 2 11の間取り図

雨穴／作 飛鳥新社

2024年3月15日(金)公開の実写映画の原作となった間取りミステリー『変な家』の第2弾。前作は1枚の間取り図を基に、そこで起こった恐ろしい事件について調査した。今回は、11軒の新たな「変な家」の調査を試みる。一見、無関係に思える11軒だが、実はつながりがあった。

月のうらがわ

麻宮好／著 祥伝社

三年前に母を亡くした、深川の長屋に住む13歳のお綾。本好きのお綾は、隣に越してきた写本を生業とする侍・坂崎清之介に手習いを見てもらうことに。お綾はそこで書きかけの本「つきのうらがわ」を見つける。それは子が亡き母の住む月へ辿りつこうとする物語だった。

私の源氏物語ノート

荻原規子／著 理論社

5年をかけて『源氏物語』を全訳し、「荻原規子の源氏物語 全七巻」(理論社)にまとめた著者による、源氏物語鑑賞エッセイ。愛読者としての目線で原文から受ける感想を綴り、同じ長編物語作家の視点で紫式部を眺める。巻末に全あらすじを記した「源氏物語五十四帖の概要」付き。

文庫本

〈読んだふりしたけど〉ぶっちゃけよく分かん、あの名作小説を面白く読む方法

三宅香帆／著 KADOKAWA(角川文庫)

みんなが傑作という本を読んでみたけど、よく分かん以外の感想を持ってなかったこと、ありませんか。これは、「小説を面白く読む技術」を知らないだけ。書評家の著者が、古今東西の有名な作家の作品を例にあげ、面白く読むためのちょっとしたコツを具体的に伝授します！

薬屋のひとりごと 2~4

日向夏／著 主婦の友社(ヒーロー文庫)

中世の宮中の下女が薬の知識を使って難事件を解決していくシリーズ。主人公の猫猫(マオマオ)と美形の宦官壬士(ジンシ)の関係も楽しい、2023年テレビアニメ化された原作本。現在既刊14巻、南高図書館にも続々入荷中です。お楽しみに。